

個別避難計画研修

第一部

災害時の避難編

近年の災害と法改正について

- 近年の災害では、高齢者（65歳以上）を中心に多くの被害が発生

近年の主な災害	死者のうち高齢者が占める割合
東日本大震災	約60%
令和元年台風19号（東日本台風）	約65%
令和2年7月豪雨	約79%

- 東日本大震災や令和元年台風19号（東日本台風）等による災害を踏まえ、国において、避難支援に関する制度面における改善の方向性の提示
- 災害対策基本法の改正
 - ⇒ 「避難行動要支援者名簿」作成の義務化（平成25年）
 - 避難行動要支援者に係る「個別避難計画」作成の努力義務化（令和3年）

令和3年5月 法改正（「個別避難計画」作成の努力義務化）

1. 災害対策基本法の一部改正

①災害時における円滑かつ迅速な避難の確保

2) 個別避難計画（※）の作成

※ 避難行動要支援者（高齢者、障害者等）ごとに、避難支援を行う者や避難先等の情報を記載した計画。

<課題>

避難行動要支援者名簿（平成25年に作成義務化）は、約99%の市町村において作成されるなど、普及が進んだものの、いまだ災害により、多くの高齢者が被害を受けており、避難の実効性の確保に課題。

〔近年の災害における犠牲者のうち高齢者（65歳以上）が占める割合〕
令和元年東日本台風：約65% 令和2年7月豪雨：約79%

<対応>

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図る観点から、**個別避難計画について、市町村に作成を努力義務化**。

〔任意の取組として計画の作成が完了している市町村 約10%〕
〔任意の取組として一部の計画の作成が完了している市町村 約57%〕

※併せて、マイナンバー法を改正し、名簿・計画の作成等に当たりマイナンバーに紐付く情報を活用



避難行動要支援者が災害時に避難する際のイメージ

（出典：内閣府HP「災害対策基本法等の一部を改正する法律の概要」）

令和2年7月豪雨

- ・令和2年(2020年)7月3日～7月31日に日本各地で発生し、顕著な被害をもたらした一連の大雨の名称
- ・特に九州地方において記録的な大雨を記録
- ・この大雨により、球磨川(くまがわ)や筑後川などの大河川での氾濫が相次いだほか、土砂災害、低地の浸水等により、人的被害・物的被害が発生

被害状況(全国)

死者 84名, 行方不明者 2名

住家の全半壊等 9,723棟

住家浸水 6,825棟

国・県管理河川の氾濫 202件

土砂災害発生 932件

など

出典:消防庁「令和2年7月豪雨による被害及び消防機関等の対応状況(第56報)」,国土交通省「令和2年7月豪雨災害による被害状況等について(第49報)」



令和2年7月豪雨により被災した熊本県八代市
(写真の出典:熊本災害デジタルアーカイブ)

令和2年7月豪雨

写真：河川の氾濫等による被害の様子
(出典：熊本災害デジタルアーカイブ)



被害状況(全国)

死者 84名, 行方不明者 2名

住家の全半壊等 9,723棟

住家浸水 6,825棟

国・県管理河川の氾濫 202件

土砂災害発生 932件

など

出典：消防庁「令和2年7月豪雨による被害及び消防機関等の対応状況(第56報)」, 国土交通省「令和2年7月豪雨災害による被害状況等について(第49報)」



令和2年7月豪雨

写真：土砂災害等による被害の様子
(出典：熊本災害デジタルアーカイブ)



被害状況(全国)

死者 84名, 行方不明者 2名

住家の全半壊等 9,723棟

住家浸水 6,825棟

国・県管理河川の氾濫 202件

土砂災害発生 932件

など

出典：消防庁「令和2年7月豪雨による被害及び消防機関等の対応状況(第56報)」, 国土交通省「令和2年7月豪雨災害による被害状況等について(第49報)」



平成25年台風18号

- ・平成25年9月13日に発生した台風18号は、日本の広範囲で大雨をもたらした。
- ・9月16日には、8月30日から気象庁で運用を開始した**特別警報**が初めて京都府を含む3府県に発表され、京都市においても甚大な被害が発生

水害による被害の様子
渡月橋（上），鴨川（三条大橋付近）（下）



本市における主な被害

負傷者	3名
建物被害(全壊, 半壊, 一部破損)	182件
建物被害(浸水被害)	1435件
土砂崩れ等	209箇所
冠水	51箇所

出典:平成26年2月25日京都市行財政局「台風18号に伴う京都市内の被害状況について(2月20日17時現在)」

災害時の避難について

「個別避難計画」の策定に向けて、
まずは**災害時の避難の基本**について学びましょう！

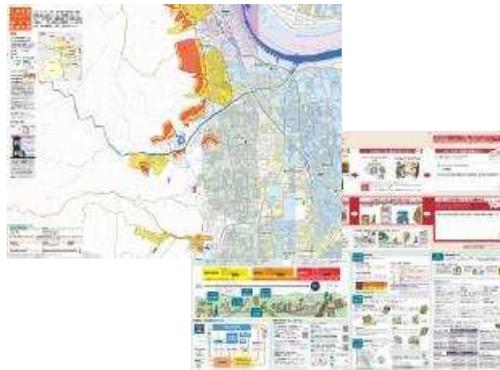
まずは「ハザードマップ」を確認！

京都市水害 ハザードマップ



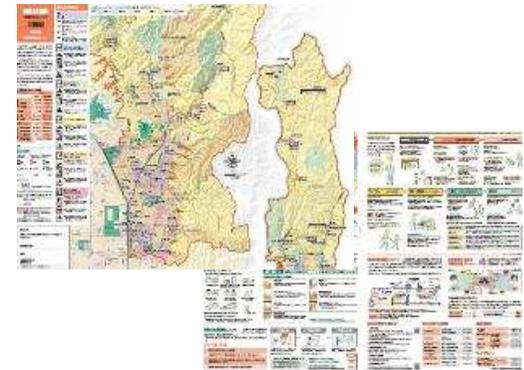
行政区ごとに作成

京都市土砂災害 ハザードマップ



対象学区ごとに作成

京都市地震 ハザードマップ



行政区ごとに作成

ハザードマップは「京都市防災ポータルサイト」で内容を確認できます。また、紙のマップを区役所・支所地域力推進室でも配布しています。災害リスクは「京都府マルチハザード情報提供システム」でも確認できます。

※ **上京区，中京区，下京区，南区の全域には土砂災害（特別）警戒区域がないため，土砂災害ハザードマップを作成していません。**

水害への備え

①ハザードマップで災害リスクを確認

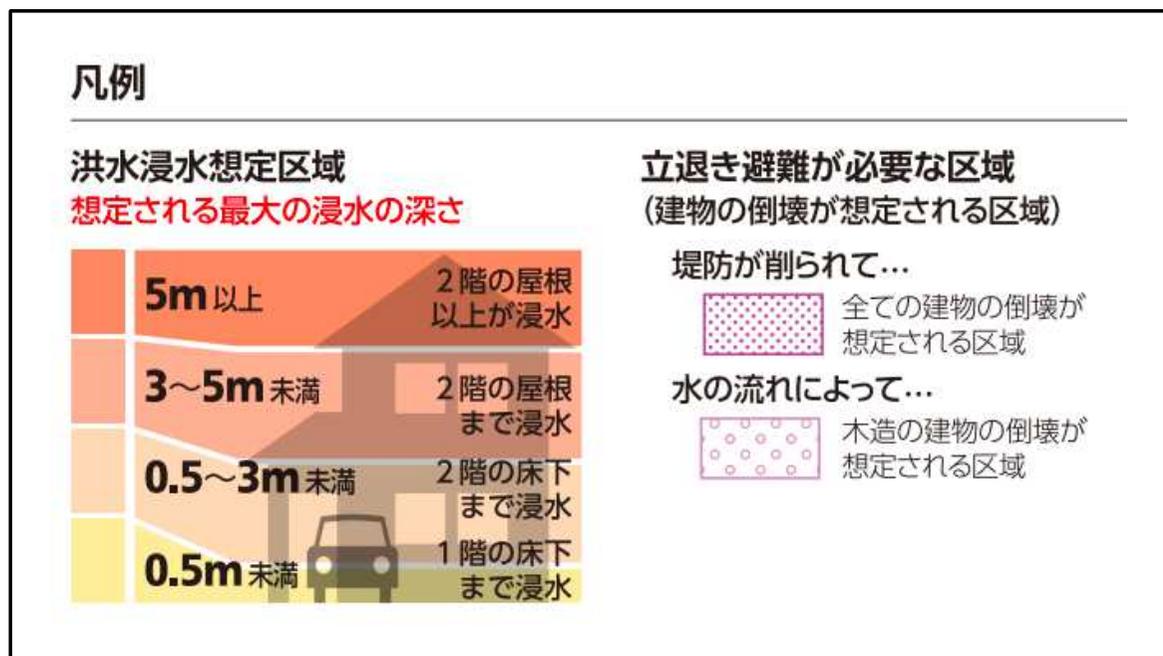
【チェックポイント】

○洪水浸水想定区域

浸水が想定される区域と、その最大の浸水の深さを表示しています。

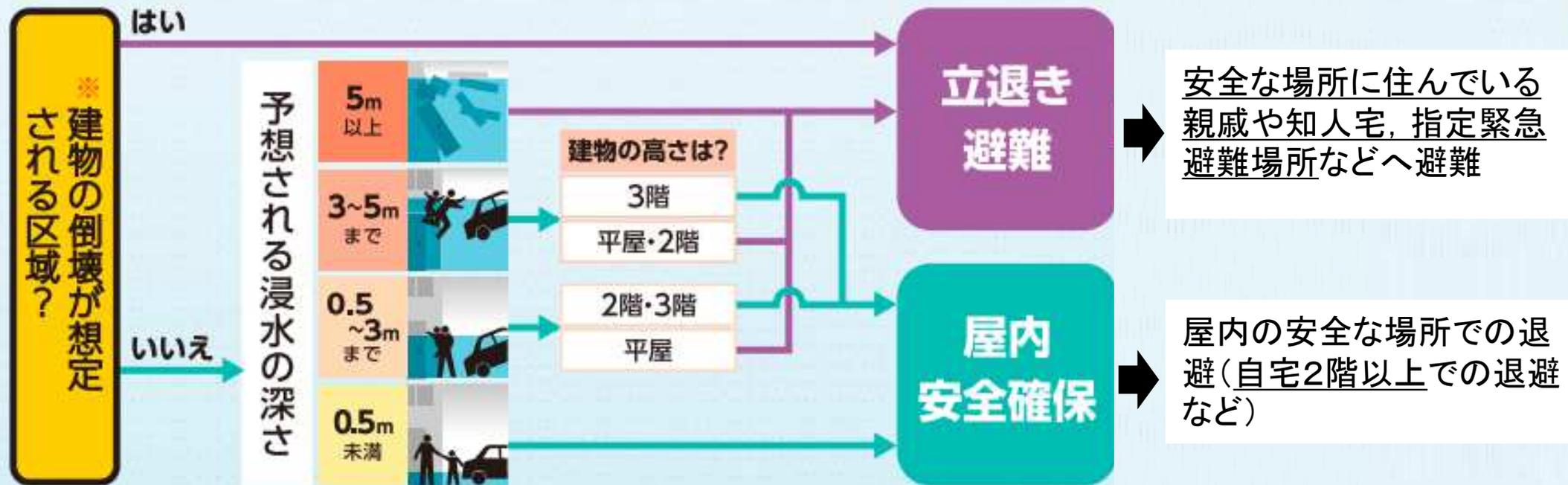
○建物の倒壊が想定される区域

堤防が削られ、全ての建物の倒壊が想定される区域と、水の流れにより、木造の建物の倒壊が想定される区域を表示しています。



正しい避難行動を知ろう!

想定される浸水の深さ、お住まいの場所・建物の高さによって、必要な避難行動には違いがあります。
自分に必要な**正しい避難行動**を知りましょう!



○指定緊急避難場所・・・学区等ごと、災害種別（水害・土砂災害）ごとに決められています。

※ 指定緊急避難場所は、基本的に地域の有志の方により運営されています。

土砂災害への備え

①ハザードマップで災害リスクを確認

【チェックポイント】

○土砂災害警戒区域 **イエローゾーン**

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域を表示しています。

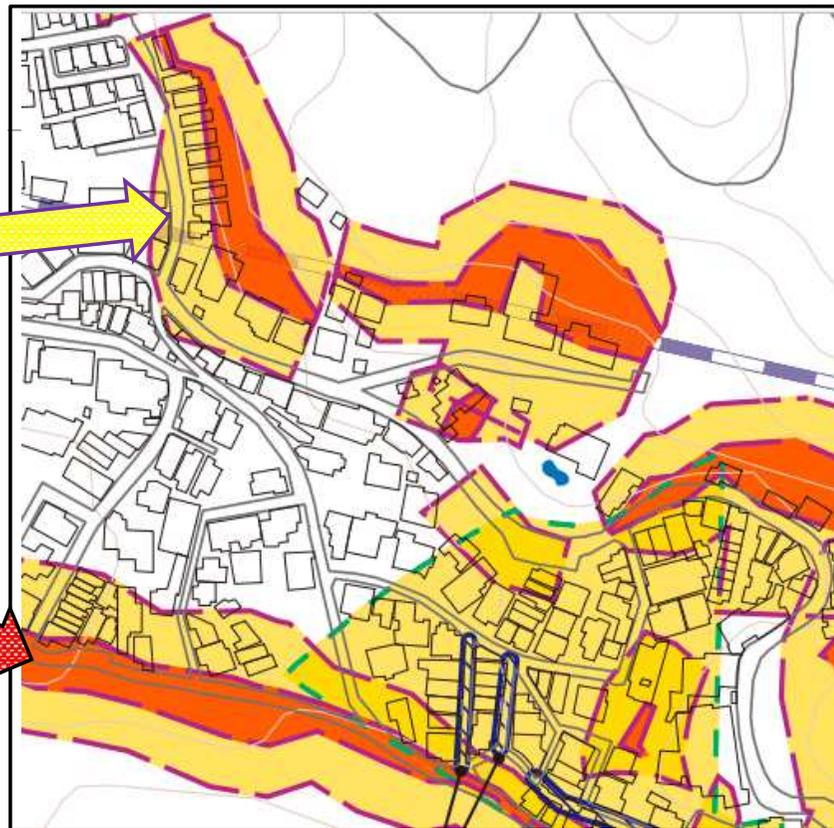
○土砂災害特別警戒区域 **レッドゾーン**

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域を表示しています。

土砂災害は、原則立退き避難！

- ・土砂災害は、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅、指定緊急避難場所に避難
- ・ただし、十分頑丈なマンションなどの上層階に住んでいる場合は、自宅に留まり安全を確保することも可能
- ・区域外においても土砂災害が発生することがあるため、山すそなどでは注意が必要

土砂災害ハザードマップ（一部）



土砂災害特別警戒区域

土石流  急傾斜地の崩壊 

土砂災害警戒区域

土石流  急傾斜地の崩壊 

地すべり 

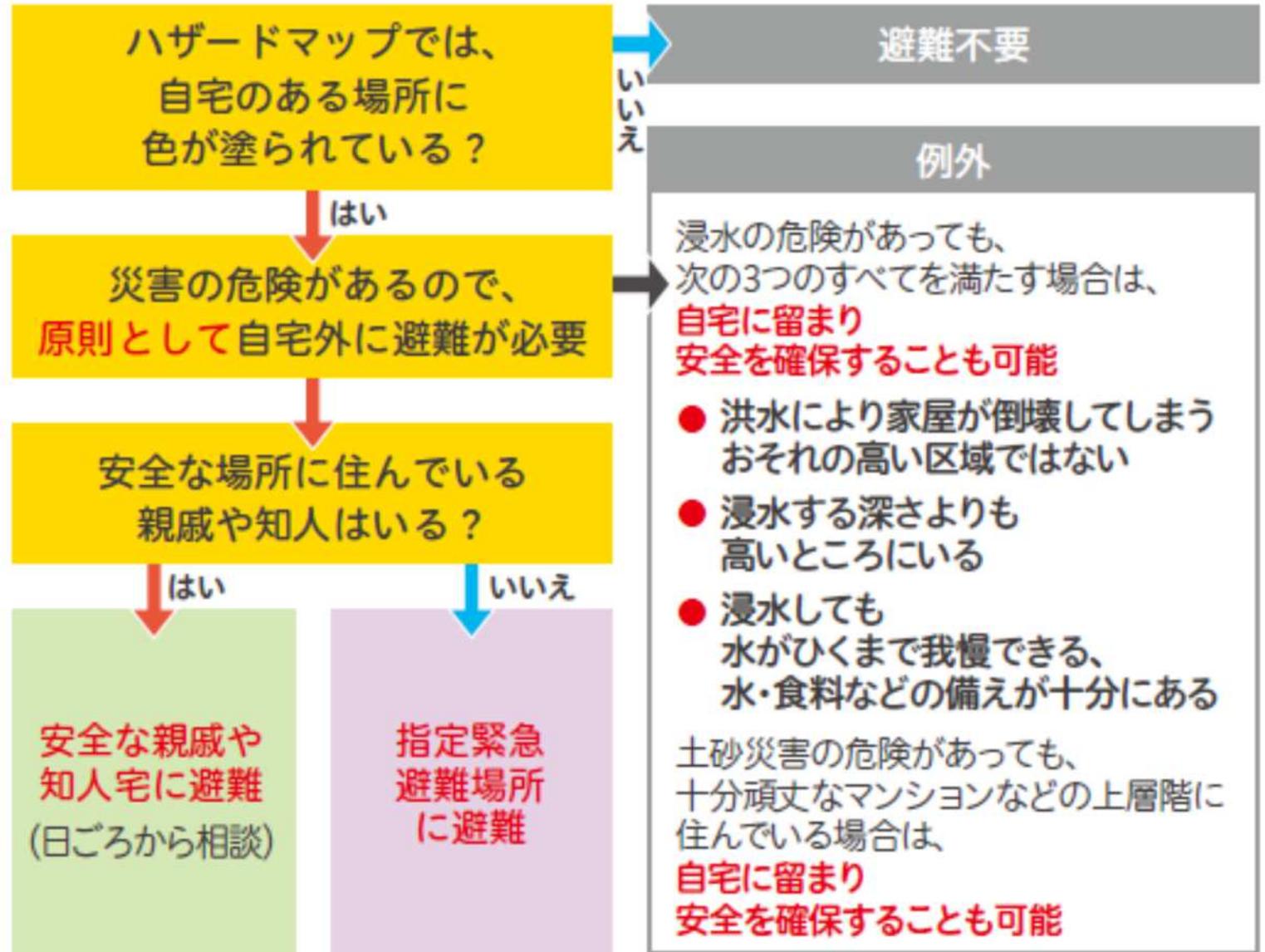
避難行動判定フロー（水害・土砂災害の場合）

ポイント

○早めに安全な場所へ避難することが大切です

○「避難行動判定フロー」を事前にチェックし、あらかじめ避難行動を決めておきましょう

○指定緊急避難場所への避難だけでなく、安全な自宅の上階や、災害リスクの低い場所にある親戚や知人の家への避難も検討しましょう

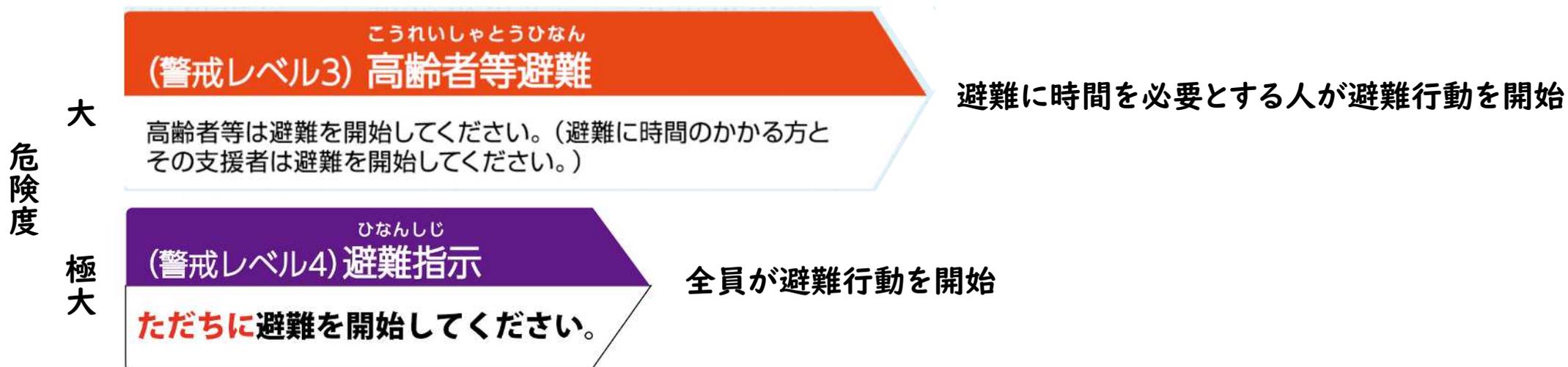


避難情報（水害・土砂災害の場合）

水害・土砂災害の危険性が高まった場合に、京都市において、避難情報（「（警戒レベル3）高齢者等避難」、 「（警戒レベル4）避難指示」）を発令します。正しいタイミングで安全に避難しましょう。

- **水害**・・・洪水警報が発表され、かつ、川の水位が高くなり、氾濫のおそれが高まった場合に発令します。
- **土砂災害**・・・大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ、土砂災害のおそれが高まった場合に発令します。

※ 避難情報は、学区等ごとに発令します。



地震への備え

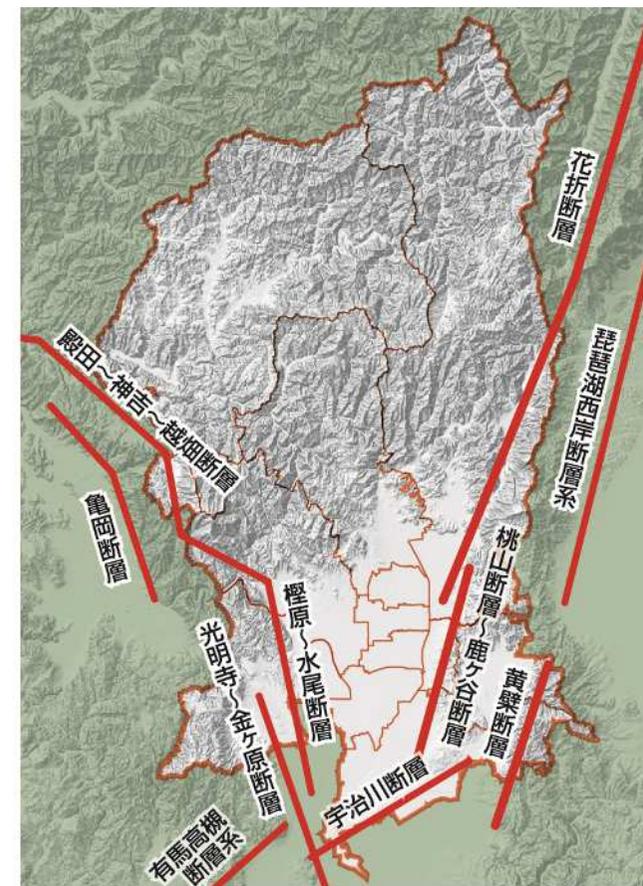
①ハザードマップで災害リスクを確認

「京都市地震ハザードマップ」で、
想定される被害（震度）を確認

<地震ハザードマップ（一部）>
地図を色分けし，震度分布を表示

凡例

震度1～4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
-------	------	------	------	------	-----



京都市周辺の活断層

地震への備え

② 「地域の集合場所」を確認

【大地震発生時の避難行動】

「地域の集合場所」に集まる

可能であれば



帰宅者

避難者

○ 自宅に被害がない場合は帰宅

○ 自宅に被害があり、帰宅できない。

自宅



指定避難所

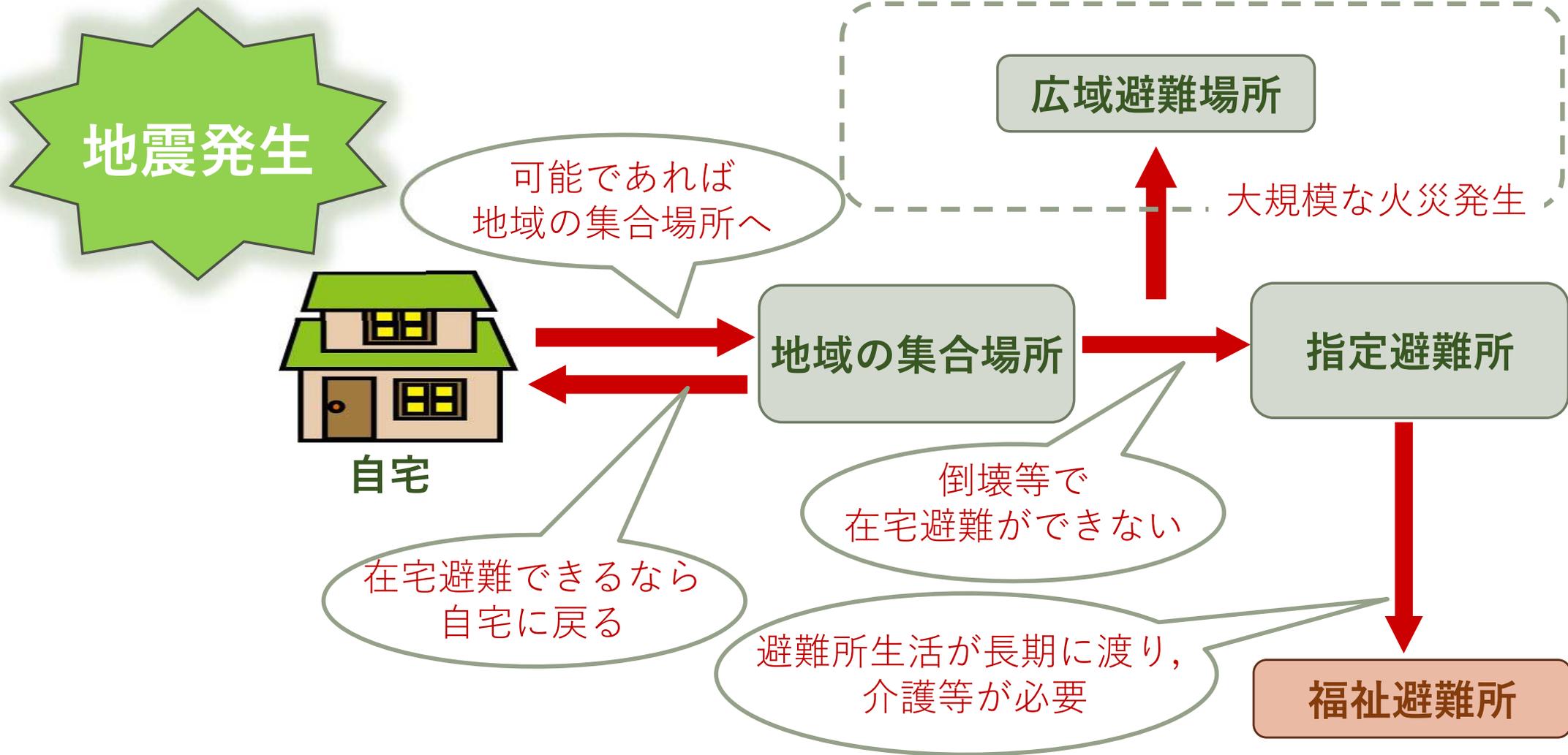


○地域の集合場所・・・大地震が発生した場合に、地域の皆様が互いに協力し合って、安否確認、救出救護活動などを実施するために集合する場所で、概ね町内ごとに決められています。（不明な場合はお近くの消防署で確認を）

○指定避難所・・・大規模地震等により、長期の避難が必要な場合に開設。学区等ごとに決められています。

※ 指定避難所は、基本的に地域の有志の方により運営されています。

避難行動（地震の場合）



○広域避難場所・・・大規模地震の際に発生する大火災から逃れるためのオープンスペース

○福祉避難所・・・避難生活において一定の配慮を要する方を対象とする避難所。一般の避難所（指定避難所）への避難後に、そのまま一般の避難所での生活を続けることが困難な方が対象

家庭での備蓄

家庭での備蓄食料品のめやす【大人1人,3日分の場合(例)】

飲料水

水 3ℓ

※飲料水として1人当たり1日1リットル(調理等の使用を含めると、1人当たり1日3リットルあれば安心です。)

主食

米 7食分
レトルトご飯、
アルファ化米

カップ麺類 1個

パン 食パン
1食分

精米又は無洗米、レトルトご飯、アルファ化米、パン(食パン)、もち、乾麺(うどん、そば、パスタ)、シリアル類など

主菜

レトルト食品

カレー・牛丼・パスタソースなど

缶詰

肉・魚

肉・魚・豆などの缶詰、レトルト食品、豆腐(充填)、ロングライフ牛乳など

副菜

梅干し、のり、野菜ジュース、日持ちする果物など

その他(菓子類)

チョコレート、ビスケット、飴など

○食料品など必要な物資を備蓄しましょう。

食料は最低でも3日分、できれば1週間分程度を備蓄しましょう。

ローリングストック法※で

の備蓄を推奨しています！

※日頃から食べているものを少し多めに購入し、食べた分を補充しながら日常的に備蓄する方法

○すぐに持ち出せるよう、リュックなどに必要最低限のものを準備しておきましょう。

非常持出品を準備しよう

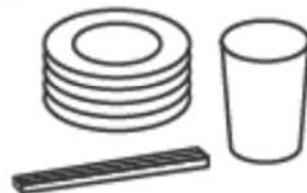
すぐに持ち出せるよう、リュックなどに必要最低限のものを準備

持ち出せる範囲で

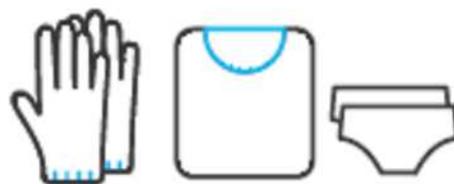
飲料水、調理不要の食品



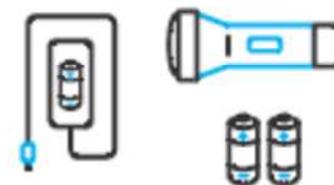
紙コップ、皿、割り箸など
食器類



衣類及び下着類



懐中電灯、乾電池、
携帯電話の充電器(乾電池式)



マスク、アルコール消毒液、
体温計、常備薬など



住まいの安全対策

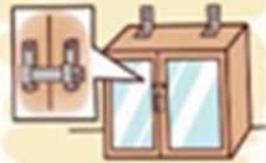
○自宅の耐震性を確認し、家具の転倒などから身を守りましょう。
家具の固定や窓へのガラス飛散防止フィルムの貼付けなど被害を最小限に抑えるための対策をしましょう。

□転倒防止



ボール式を使用するときは、ストッパーを併用しましょう。

□飛び出し防止



L字金具で家具を固定するとともに、扉の開放防止器具を設置して、飛び出しを防止しましょう！

□飛散防止



ガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう。

□寝る場所の安全

※枕元には懐中電灯の準備を！



寝る場所の近くに、なるべく家具を置かないようにしましょう。
また、履物などを用意しましょう。

□通路の確保



外に出る通路を防ぐものがあれば、整理しましょう。

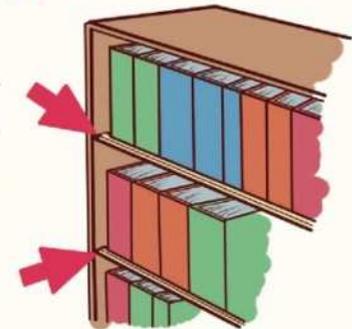
□暗闇・停電時対策



夜光テープ等は避難時の道しるべになります。

□滑り止め対策

本棚から本などが飛び出さないよう滑り止め対策をしましょう！



京都市防災ポータルサイト

- ・京都市では、市民の方が自然災害発生に備え、日頃から防災知識の向上を図っていただくため、各種災害への備えや備蓄物資の準備、防災知識、避難所の情報等をまとめ、「京都市防災ポータルサイト」において掲載を行っています。
- ・本人又は家族等と一緒に個別避難計画を作成する際の参考に御活用ください。



The screenshot shows the Kyoto City Disaster Portal Website. At the top, there is a navigation bar with the site title "京都市防災ポータルサイト" and a search bar. Below the navigation bar, there are several menu items: "ハザードマップ", "自然災害発生まで", "自然災害発生後", "過去の災害", "自然災害資料集", "その他の危機", and "リンク集". The main content area features a large banner for "京都市ぼうさいパーク" (Kyoto City Bousai Park) with the text "防災について 知ろう。備えよう。" and "京都市ぼうさいパーク". To the right, there is a section for "ハザードマップ" (Hazard Map) with icons for "水害に関するマップ" (Map related to water damage), "土砂災害に関するマップ" (Map related to landslides), "地震に関するマップ" (Map related to earthquakes), and "その他" (Others). Below this, there is a section for "マイ・タイムライン" (My Timeline) with the text "我が家の防災行動計画 知って作ろう マイ・タイムライン" and an illustration of two children.

第一部 完

第二部

個別避難計画の概要、作成の事前準備編に続きます。